

## 岐阜労働局長がベストプラクティス企業の職場を訪問

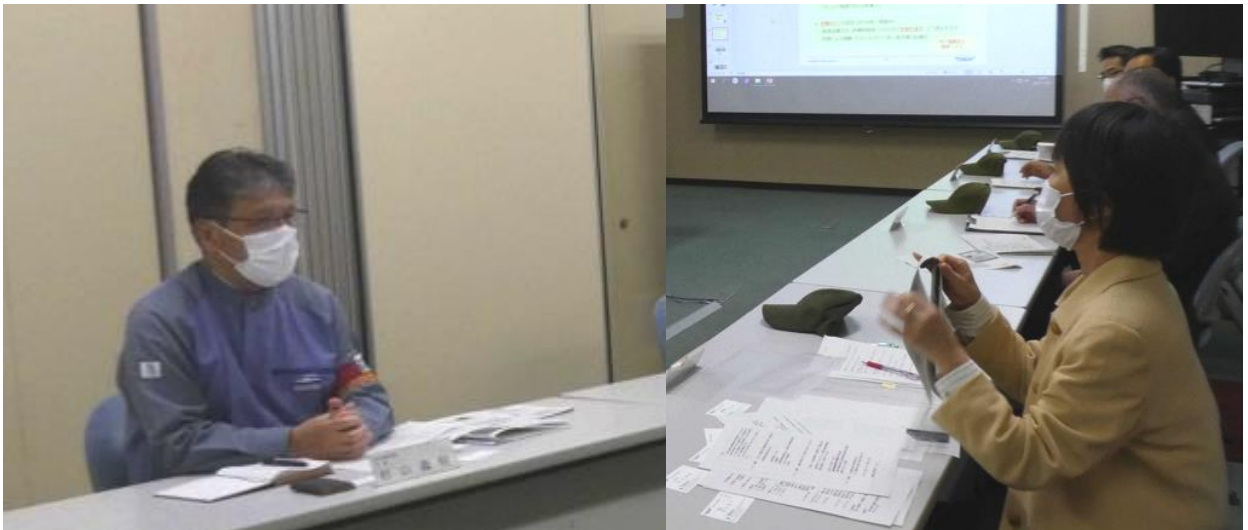
岐阜労働局長（大地直美）は、11月の過重労働解消キャンペーンの取組のひとつとして、長時間労働削減、年次有給休暇取得促進等に積極的に取組み、効果を上げているベストプラクティス（※）企業として、岐阜殖産株式会社（安八郡神戸町大字安次900番地の1）を11月25日に訪問し、杉山社長や従業員と意見交換を行った結果を取りまとめましたので公表します。

※ 課題の克服や問題解決のためのすぐれた実践例、優良事例

### 【職場訪問の概要】

- 会社の取組内容の説明を受けた後、大地局長は、杉山社長と長時間労働の削減や有給休暇の取得促進等において工夫されている点などについて意見交換を行いました。

杉山社長は、「働き方改革を進める上で、従業員が意欲をもって能力を発揮することができる働きやすい職場環境を整備することが重要だ。これまでの小さな積み重ねを大切に、今後も継続していきたい。」と述べられていました。



杉山社長と意見交換をする大地局長⑥

### 〔会社の主な取組〕

- ① 毎日、終業時刻15分前に終礼を実施し、上司が残業の必要性について判断
- ② 毎週金曜日の早帰りデーに、終業時刻後に15分間音楽を流して退社を促す
- ③ 作業毎のマニュアルを作成し、担当者が不在でも部署内でカバーし合える環境を整備

- ① だらだらと残業することがなくなった
- ② 遠慮なく帰宅できるようになった
- ③ まわりに気兼ねなく休暇を取れるようになった

取組の結果

時間外労働時間が約7時間に減少  
（月平均1人当たり）  
年次有給休暇取得率が約90%に増加



従業員と意見交換をする大地局長㊦

- 続いて、大地局長は、従業員2名と会社の職場環境等について意見交換を行いました。

従業員からは、「子供が急病になっても休暇が取りやすい。短時間勤務制度など、仕事と家庭を両立できる制度が充実している。」「作業をマニュアル化することにより、まわりの人の大変さもわかるようになり、助け合えるようになった。」といった意見が出されました。



従業員から業務の説明を受ける大地局長㊦

- 意見交換後、大地局長から「毎日の終礼や作業マニュアルの整備など、できることを一つ一つ積み重ね、大きな効果を上げておられる。高いコストをかけなくても大きな効果が得られる優れた取組であり、県内の他の企業に広く紹介していきたい。」とコメントして職場訪問を終えました。